

弁護士法人



## 2021年のご挨拶



弁護士法人龍馬 代表 小此木 清

星野 啓次 舟木 諒 板橋 俊幸 金井 健

柳澤 有里 安藤 圭子 関口 佑杏美 神谷 清人

畑 雄気 渡邊 崇彦 平形 和

<https://www.houjinryouma.jp/>

[soudan@houjinryouma.jp](mailto:soudan@houjinryouma.jp)

## ～新時代を見据えて～

弁護士 小此木 清

### 1, シニアのためのワンストップ・オンライン相談

コロナ禍が終息しない状況で、オンラインでの相談体制を構築します。特に、デジタル弱者である高齢者には、情報格差の壁があります。これを乗り越えるための仕組みとして、ホームロイヤー(かかりつけ弁護士)とコーケンチームに、生活支援事業者を加えて、シニア需要に対するワンストップでの問題解決を目指します。

### 2, 日弁連副会長

2021年度日弁連副会長に就任予定です。声明書の発信にとどまらず、同内容の実現に向けて活動していきます。

### 3, 下村博文さん

党の政調会長として政策立案の激務をこなされる中、議員部会で「引きこもり対策部会を立ち上げたい」とのことでした。超高齢社会においては、65歳以上の全世帯のうち、単身世帯が3割、高齢夫婦世帯が3割、高齢者と独身の子が2割を占めており、この独身の子に引きこもりの方が多いのです。3世代世帯はわずか1割であり、高齢核家族が増加しています。



私のライフワーク「高齢者問題の解決」にあたり、高齢期を生きる市民のリーガル・リテラシー(法を知り、活用できる能力)を高めるための政策立案を提言・協力していきます。

## 【共同代表に就任いたします】

弁護士 舟木 諒

2021年4月1日をもって  
共同代表に就任することになりました。  
士業の円滑な事業承継も見据えたものです。

法人化して、早10年。

従前の「個」に頼ったノウハウを組織化し、よりチームとして法的サービスを提供する体制を整えていきます。例えば、①原則として、弁護士複数・秘書複数によるチームでの事件対応、②AIによる契約書チェックサービスの導入と共有、③テンプレートの整理による迅速化です。

良いと思ったものはチャレンジし、トライ&エラーを繰り返しながら、スピードが求められる時代に対応できるような事務所を目指します。



## 【多角的視点からの問題解決を提案】 弁護士 星野啓次 【おこのぎ法律事務所】

近年の社会経済情勢の複雑化・多様化に伴い、派生する様々な法的ニーズに対応する必要があります。

例えば、相続・遺言、不動産取引など法律面と税務面の問題が混在しているケースがあります。当事務所では、弁護士と税理士が在籍し、このような事案にも総合的なワンストップサービスを提供いたします。

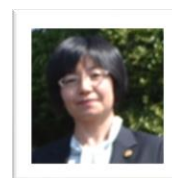
また、2021年は、平形弁護士が当事務所のメンバーとして新たに加わりました。

専門家によるチーム体制により、多角的な視点から皆様の法的問題をトータルサポートします。



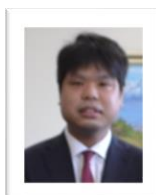
## 【裁判のIT化に向けて】 弁護士 金井 健 【ぐんま事務所】

訴訟における争点整理手続でのビデオ会議の利用が前橋地方裁判所でも始まりました。



私も、群馬弁護士会での円滑な導入に向けて携ってきました。現場の印象としては、奇しくも新型コロナの流行が、裁判手続におけるIT導入を推進させたわけです。さらなる裁判のIT化に向けて、法制審議会において民事訴訟法の改正が審議されています。とはいえ、一般社会では、ビデオ会議やクラウドデータベースは当たり前利用されて

います。当事務所でも、オンラインでの相談やビジネスチャットでの顧問会社法務担当者とのやり取りなどを導入しました。今後は、AIなども利用し、より



身近でアクセスし易く、レスポンスの早い法務を構築していきます。



### 【医療・福祉との連携サポート】 弁護士 板橋俊幸 【おおた事務所】

おおた事務所を開設して、無事に1年が経ちました。

開設時に掲げた「高齢者・障害者の法的ニーズへの対応」は、未だ道半ばですが、着実に両毛地域の医療・福祉関係者の方々の連携体制が広がっております。実務経験のある社会福祉士・



精神保健福祉士が在籍しておりますので、医療・福祉の実情を理解したうえで、現場で発生する多様な法的ニーズに柔軟な対応が可能です。

2021年は、事務所内異動により神谷清人弁護士が加わりますので、両毛地域の皆様には、より充実した法的サービスの提供をして参ります。

### 【場所にとらわれない充実したサービスを】 弁護士 柳澤有里 【けやき野事務所】

皆様に支えられ、けやき野事務所は2021年に開設6年を迎えます。

けやき野事務所は、群馬県外唯一の拠点として、埼玉・東京の業務を中心に担っておりますが、龍馬では従来から業務のIT化を進めており、所内 web 会議やデータベースを利用して、各地域の弁護士が密に連携して業務にあたってきました。コロナ禍の2020年は、図らずも裁判のIT化を加速させました。

遠方の裁判所もより利用しやすくなります。

こうした時代の変化に柔軟に対応し、2021年は、地域密着・複数拠点の利点も生かしつつ、組織としての対応をこれまで以上に強化し、



場所にとらわれないより充実したサービスの提供に努めてまいります。



## 【シニアの懸け橋となるために】 龍馬選抜メンバー コーケンチーム

「まだ、社会に貢献できる。もっと役に立ちたい。」「シニア問題は、自分自身の問題として切実だ。」これらは、コーケンチームの感想です。アクティブシニアの役割はまだまだあります。同世代が同世代を見守ることの親和性と有効性は、日々実感しています。コーケンチームは、被後見人との対応のみならず、銀行、施設、生活支援事業者とのやり取りも大切と思っています。

人を支えるのは、人です。  
被後見人を取り巻く人々の  
総合的コーディネートを担当し、よりよい成年後見を目指します。



## 新たな龍馬メンバーの紹介

平形 和(おこのぎ法律事務所所属)

令和2年12月より弁護士法人龍馬で勤務することになりました、平形和と申します。私は群馬県吾妻郡にある高山村で生まれ育ちました。大学時代・大学院時代は県外で過ごしましたが、弁護士として働く際には群馬に戻って地元の方々の役に立つ仕事がしたいと常々考えておりましたので、この度無事群馬で弁護士人生の第一歩を踏み出すことができたことをとても嬉しく思っています。

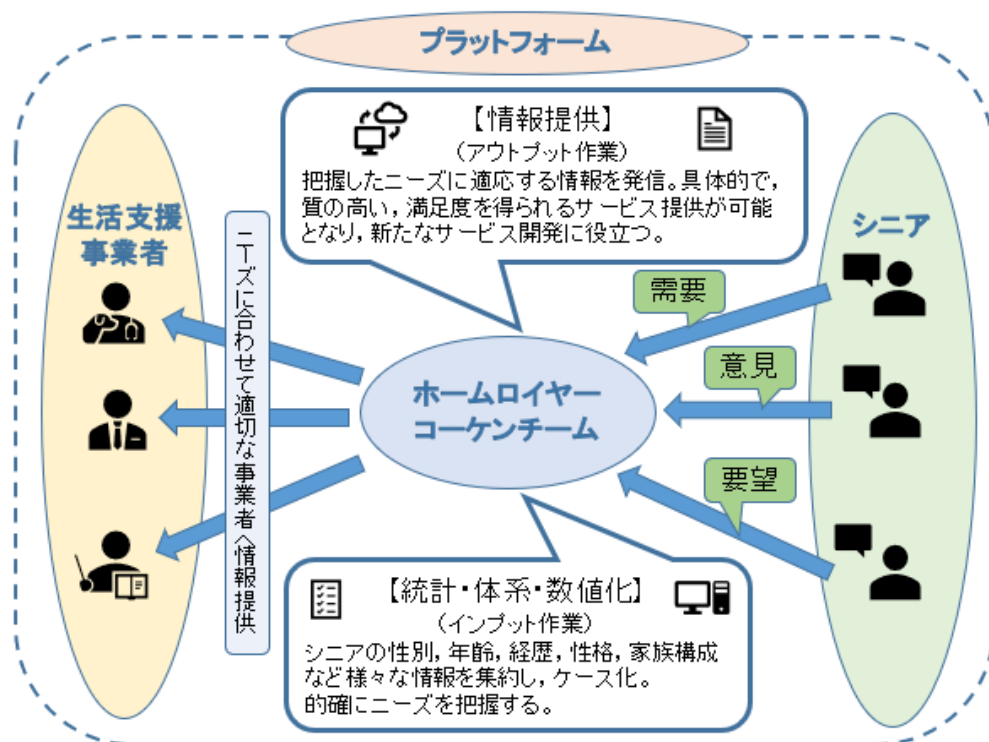
まだまだ未熟ではありますが、依頼者の皆様の心情に寄り添うことのできる弁護士を目指して精進していきます。



## 高齢者の“自立支援”

1. 少年期から成年期に向かうときには、いろいろな支援があって、徐々に自立していくものです。高齢期ではどうでしょうか。今までできたこと、例えば、家事、買い物、通院などが徐々にできなくなります。しかし、その時々ちょっとした支援さえあれば、自分らしさを失わず、一人の社会人として生活することができます。これが高齢者への自立支援です。

高齢者の身の回りに起こることは、多種多様で、年々増加していきます。身近なところからは、家屋、水道、電気などの修理、ゴミや雑草の処理などがあります。大きな課題としては、土地の処分、相続問題、遺言、施設入所手続きなどその数は山積みです。こういった生活全般にわたっての支援が、生活支援です。



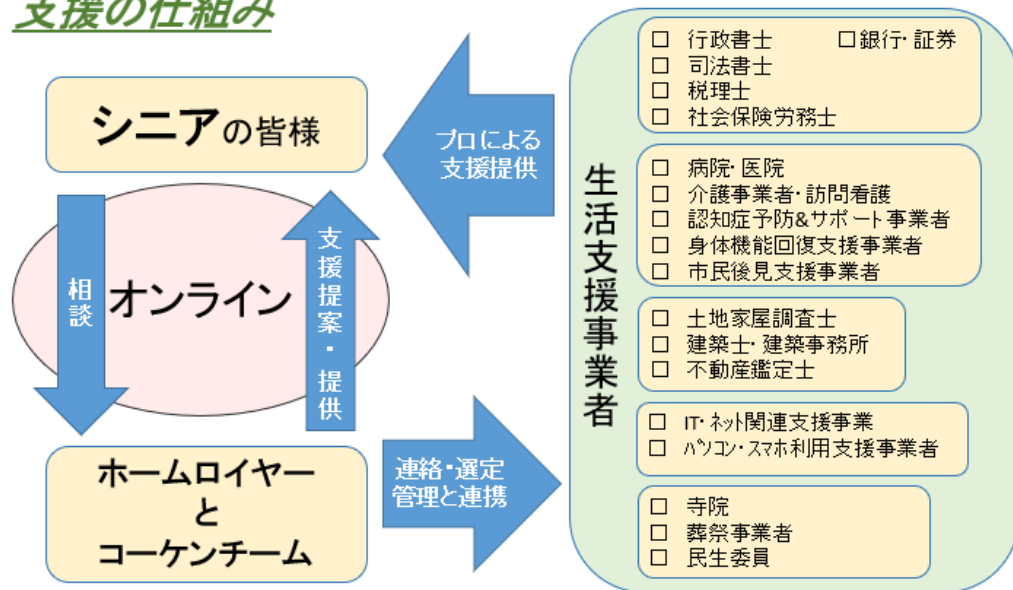
## 2. “オンライン弁護士”における高齢者の生活支援

将来的には、全国どこでも一律に標準な生活支援ができるような、“オンライン弁護士”という仕組みを構築していきます。

### ①オンラインによる問題解決

生活支援の一体化、一本化のために、ICTによるオンライン問題解決ワンストップを目指します。シニア～弁護士～クーケンチーム～生活支援事業者をオンラインで結び、問題を一つのプラットフォーム上に載せ、ワンストップで解決します。

## 支援の仕組み



### ②コーケンチームによる組織的な取り組み

ホームロイヤー契約者50人をワンユニットとし、5人のコーケンチームが担当しています。1人のホームロイヤー（弁護士）のもとに、シニアを取り巻く生活支援事業者と連携し、その人に応じた生活支援事業者を随時開拓して対応していきます。

コーケンチームは、弁護士の指示のもと、チームとして機能していきます。ですから、どこでも、だれでも、そのシニアに応じた生活支援を目指していきます。しかもコーケンチームは、定年退職をしたアクティブシニアが担当します。高齢者が高齢者を見守ることの親和性の高さと有効性を発揮することができます。また、アクティブシニアの社会参加も同時に実現でき、コーケンチームの活動を通して「社会貢献」での意欲や生きがいづくりにもつながっていきます。

### ③シニアと密な情報交換

対象シニアの要望を叶えるためには、その人のことを十分理解していかなくてはなりません。そこで、「シニア相談票」により、シニアの要望を聞き取り、活用を図ります。コーケンチームとシニアの信頼関係を作り、シニアの希望に沿った支援ができるよう日頃から信頼関係を作っていきます。

### ④シニアの社会的孤立への対応

「オンライン弁護士」では、率先して手を挙げたシニアが対象です。コーケンチーム、生活支援業者との交流だけでなく、シニア同士の仮想ヴィレッジも作ることができます。

しかし一方で、手を挙げることができず、誰にも相談できないシニアもいます。社会的孤立に陥ってしまうシニアに対しては、市民後見チームとの連携・協力を取ります。個人情報保護に十分留意しながら、市民後見や高齢者施設、ケアマネージャーとの日々の交流を大切にしていきます。

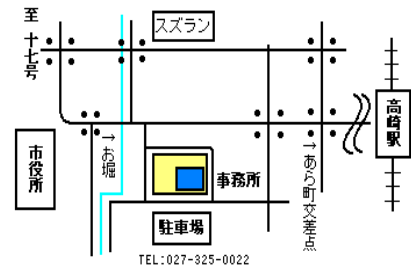
## 弁護士法人龍馬 おこのぎ法律事務所

〒370-0828

群馬県高崎市宮元町 292 ザ・グランクープス 1 階

TEL:027-325-0022 FAX:027-325-2210

弁護士 小此木清 弁護士 星野啓次 弁護士 平形和



## 弁護士法人龍馬 ぐんま事務所

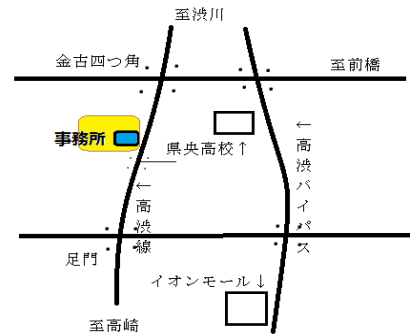
〒370-3511

群馬県高崎市金古町 1221

TEL:027-372-9119 FAX:027-372-2210

弁護士 舟木諒 弁護士 金井健 弁護士 安藤圭子

弁護士 関口佑杏美 弁護士 畑雄気



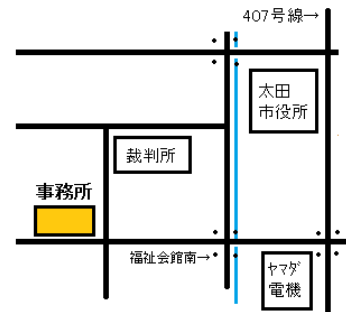
## 弁護士法人龍馬 おおた事務所

〒373-0852

群馬県太田市新井町 519-14

TEL:0276-49-5115 FAX:0276-45-7744

弁護士 板橋俊幸 弁護士 神谷清人 弁護士 渡邊崇彦



## 弁護士法人龍馬 けやき野事務所

〒330-0061

埼玉県さいたま市浦和区常盤 6 丁目 2 - 1

TEL:048-827-5168 FAX:048-614-3594

弁護士 柳澤有里

